

# 競技力向上事業

スポーツ課

## 1 事業目的

県民のスポーツに対する関心とスポーツ活動への参加意欲を高めるため、国民体育大会等の全国大会で活躍が期待される県内選手の育成・強化、指導者の養成及び練習環境の整備等により競技力の向上を図る。

## 2 事業内容

### (1) 選手強化事業 1億61万4千円

#### ア 国体種目強化 71,970千円

目的：国体をはじめとした全国規模の大会で、県代表選手が優秀な成績を収められるよう競技力の向上を図る

対象団体：国体正式競技 41競技団体

対象経費：強化合宿・遠征、指導者養成及び競技用具整備等に要する経費

#### イ **新** オリンピアン育成支援 10,190千円

目的：東京オリンピック等、今後の国際大会で活躍が期待される競技・選手の育成を支援する

対象団体：オリンピック等国际舞台で活躍が期待できる選手を有する競技団体

対象経費：海外合宿や全国レベルの強化練習会への派遣、次世代トップアスリートの育成等に要する経費

#### ウ マルチサポート 2,066千円

目的：国体県代表となった選手・チームの事前合宿や大会本番にサポートチームを派遣し、コンディショニング調整を支援する。

対象団体：国体に出場する競技団体（30程度）

対象経費：国民体育大会及び合宿練習等への支援にかかるドクター・トレーナーに要する経費

#### エ ジュニア競技力向上 16,388千円

目的：小学生期、中学生期、高校生期の各発達段階に応じた組織的・計画的な選手育成をおこない、トップレベルの競技者を養成するため

対象団体：中学生強化（20種目）、重点強化校・クラブ（22クラブ）

実施方法：強化合宿・対外試合に要する経費

### (2) 発掘事業 350万1千円

#### SWANプロジェクト 3,501千円（基金繰入金1,511千円 一般財源1,990千円）

目的：長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用して、スキー、スケート、カーリング、ホブスレー・リュージュ・スルトンで将来的に世界で活躍が期待できる子どもたちを発掘・育成する（平成21年度から実施し、平成25年度は1～5期生まで89人育成）

対象者：応募者の中から選考された体力・運動能力等に秀でた子ども等

対象経費：フィジカル・心理学・栄養学からなる共通プログラム、競技団体による専門種目実技トレーニング、JOC等研修会、保護者向け研修会等に要する経費

## 3 予算額 1億411万5千円



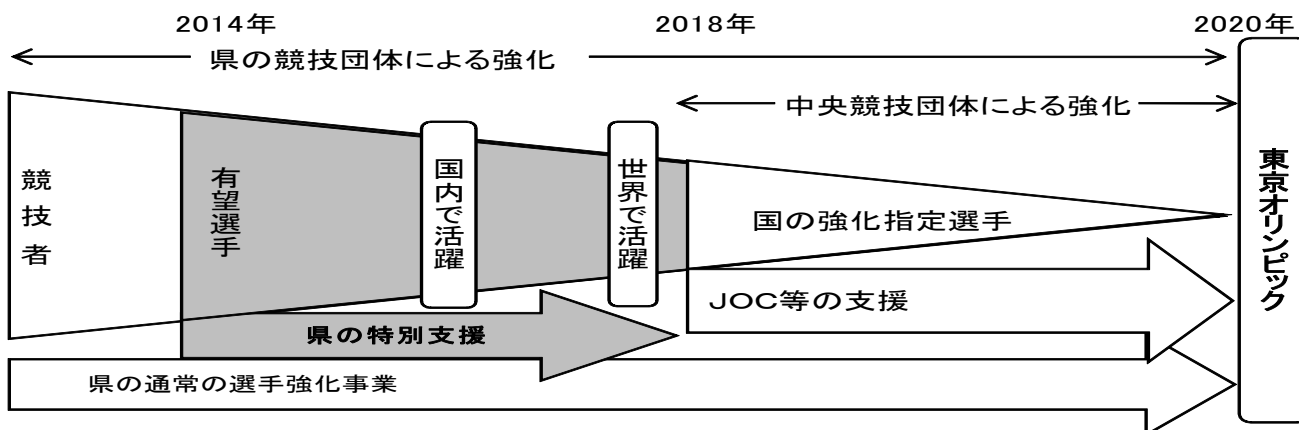
# 東京オリンピック等出場選手の育成・強化 (オリンピック育成支援事業)

スポーツ課

## 1 目的

本県出身選手が東京オリンピック等の国際舞台で活躍できるよう、競技団体が実施する有望選手や次世代トップアスリートの海外遠征等の育成・強化事業に対し支援する。

## 2 強化の過程



## 3 現状と課題 及び 事業内容

**<課題>**

- 国際舞台を目指せる選手・競技に対する支援が充実していない。
- 中央競技団体(NF)強化指定選手になるまでの強化体制が未熟な競技団体がある。
- 全国レベルの有望選手の海外大会等が不足している。



**<事業内容>**

東京オリンピック等に出場するために必要な国際競技力を身につけるため、期待できる選手や競技の集中的強化を図る。

- 海外合宿、大会等への派遣
- 世界のトップレベルの選手との合宿等
- 県外で行なわれる全国レベルの強化練習への派遣
- 世界トップレベルの指導者派遣
- 一貫した指導体制による強化
- 国際競技力向上対策会議の開催
- 医科学、栄養、心理面等の専門家によるマルチサポート
- 国際競技力向上のための練習環境整備

## 4 事業の効果

- オリンピック出場が期待できる選手が従来できなかった強化の経験をするにより、国際競技力を身につけることができる。
- 国際大会に出場し活躍する。
- 中央競技団体の指定する強化選手に選ばれ、国で強化、支援する選手となる。

## 5 予算額 1,019万円

# 長野県冬季アスリート発掘・育成事業（SWANプロジェクト）について

スポーツ課

## 1 趣 旨

国のスポーツ基本計画及び長野県スポーツ推進計画に沿った競技力向上の視点に立ち、長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用しながら、世界で活躍する競技者となる夢とチャンスを与えることを目的として、スキー、スケート、カーリング、ボブスレー・リュージュ・スケルトン競技において、Superb Winter Athlete Nagano プロジェクト（以下「SWANプロジェクト」という。）を実施する。

## 2 実施体制

- (1) 主催 SWANプロジェクト実行委員会
- (2) 構成 長野県教育委員会、(公財)長野県体育協会、長野県スケート連盟、(公財)長野県スキー連盟、長野県カーリング協会、長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟、長野県小学校校長会、長野県中学校校長会、長野県高等学校校長会、長野県日体協公認スポーツドクター協議会、(公財)日本オリンピック委員会(JOC)、(独)日本スポーツ振興センター(JSC)
- (3) 協力 長野県中学校体育連盟、長野県高等学校体育連盟、公益財団法人長野県健康づくり事業団、長野市教育委員会、軽井沢町教育委員会、信州大学、長野県短期大学、松本大学、長野大学

## 3 事業内容

体力・運動能力が特に優れた子どもたちを早期に見出し、競技団体や関係団体等との連携を図りながら、子供たちの発達段階に応じた計画的・継続的な「育成プログラム」を提供するなど、このプロジェクト独自の事業を多角的に展開する。

### (1) 実行委員会・選考部会・育成部会・検証部会

- ①実行委員会は、事業計画の策定・承認等を行う。
- ②公募・選考の実施案を検討実施する選考部会と、育成方法を検討する育成部会を設置する。
- ③検証部会は、選考及び育成の実施方法、現状を専門的に検証し、検証結果を実行委員会に報告する。

### (2) 公募・選考・育成

冬季スポーツにおいて潜在的な能力を有する人材を発掘するため、広く公募し、基礎体力をみる1次選考、種目適性をみる2次選考を行い、JOC、JSC等との連携を図りながら世界に挑戦する競技者育成に必要なプログラムを提供し、育成する。

#### ① 公募

募集要項を作成し、県内学校、県内競技団体、HPへの掲載等を通じて公募する。

#### ② 選考

1次選考(体力測定会)、2次選考(冬季種目識別測定会・面接)により本事業対象者を決定する。

#### ③ 育成（2次選考通過者を対象とする）

##### ア 共通プログラム

スポーツ教育プログラム、オリンピック教育、保護者サポートプログラム、フィジカルトレーニング、語学、スポーツ栄養学、スポーツ心理学、コーディネーショントレーニング等

##### イ 特別講座

NTCプログラムへの参加、他県のタレント発掘事業ジュニアとの交流会への参加 等

##### ウ 専門種目トレーニング

競技団体における強化 等

## 4 対象人数

※毎年、各育成段階毎に、15～30名程度を予定

現在 89名 を育成中  
(平成25年度末 13名 が修了予定)

## 5 実 績

			H 2 1			H 2 2			H 2 3			H 2 4			H 2 5		
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
選考	一 次	応募者	6	144	23	3	111	4	82	2	67	2	58				
		通過者	2	46	8	1	43	2	43	1	33	1	33				
	二 次	参加者	2	18	6	1	41	2	39	1	32	1	30				
		通過者	2	17	5	1	17	2	20	0	16	0	18				
育成	1年目		2	16	5	1	17	2	20	0	16	0	18				
	2年目					1	15	5	1	17	2	19	0	16			
	3年目								0	14	4	1	17	2	19		
	4年目											0	13	3	1	17	
	5年目														0	13	3
計			23			39			58			71			89		